

(1) 黒潮

黒潮は、世界中の海流の中でも代表的な海流です。その源はフィリピン、台湾の東方といわれ、大陸棚の線に沿って北上し、日本の南沿岸を通り福島県沖に達します。黒潮の流れは大きく、1秒間に数千万トンもの流量の水を運んでいると推定され、その流れの変化は、日本の気候にも大きな影響を与えます。

また、カツオやマグロの仲間、サンマなど、多くの魚類がこの流れを利用して回遊を行っています。

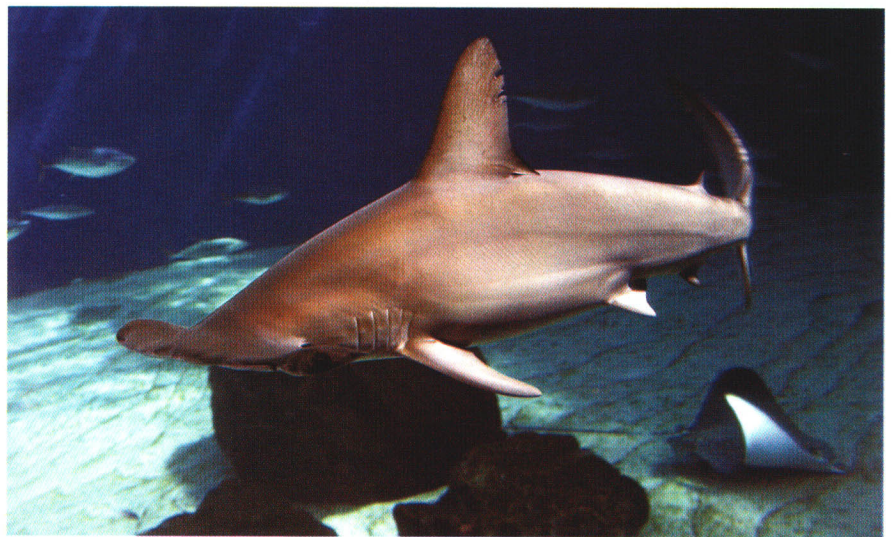


▲日本近海の海流

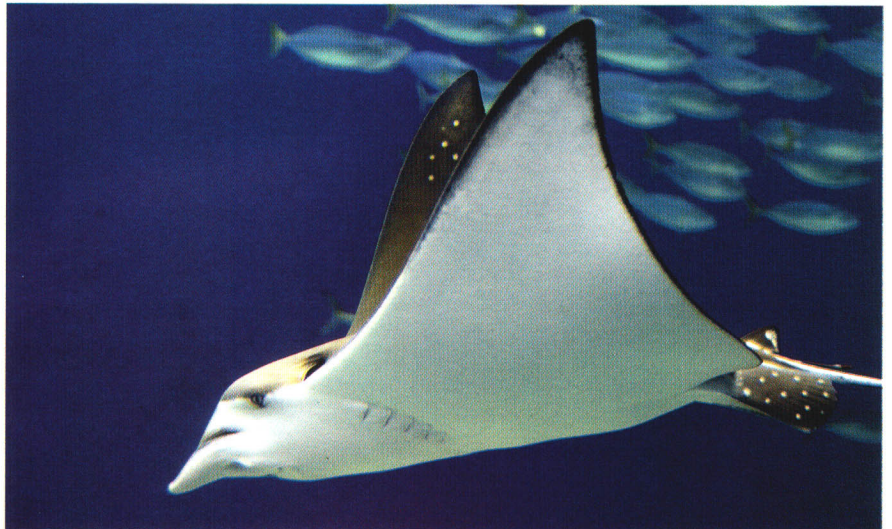
(2) サメやエイの仲間

黒潮水槽では、頭がハンマーのような形をしたアカシュモクザメとはばたくようなして泳ぐマダラトビエイの2種を見ることができます。サメ・エイなどのように骨格が軟骨でできている魚類は軟骨魚類といい、マダイやスズキなどの硬骨魚類と区別しています。両者には体のつくりにもいくつかの違いがあります。

アカシュモクザメが近寄ってきたら体のつくりをじっくり見てみましょう。まず、胸ビレの前を見ると5本の線のようなものがあります。これがエラ穴で、硬骨魚類の1対のエラ穴とはだいぶ形が違います。また、体の表面には、かわらを並べたような鱗はなく、ざらざらした歯のような鱗があります。



▲アカシュモクザメ



▲マダラトビエイ